

旧清掃工場施設解体に係る周辺環境等調査について

平成28年2月15日

環 境 部

1 経緯

平成10年4月1日に盛岡市クリーンセンターを供用開始したことに伴い、門及び三ツ割清掃工場ごみ焼却施設が廃止された。その後、平成21年度に地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用して煙突部分の解体撤去が完了しているが、施設は建築後40年以上経過しており、老朽化が進んでいる状態である。

平成23年の東日本大震災以降もダイオキシン類等の周辺環境調査を行っていないため、職員が目視による確認の他には環境測定データなどがないことから、現在の状況の把握が必要である。

2 課題

旧清掃工場施設には、次のような課題がある。

- (1) 旧焼却施設の早急な解体を実施する必要がある。
- (2) 解体に係る事業費を精査する必要がある。
- (3) 解体後の土地の活用については、全庁的に検討していく必要がある。

3 調査内容

門及び三ツ割清掃工場ごみ焼却施設の解体撤去に向けて以下の調査を行う。

- (1) ダイオキシン類及びアスベストの飛散が発生していないか旧焼却施設の周辺環境調査を行う。
- (2) 周辺環境調査を基に、解体作業に必要となるダイオキシン類及びアスベストの飛散や暴露防止対策の検討を行う。

4 スケジュール(案)

- 平成28年度 ・周辺環境調査(2箇所 計15,000千円)
・住民説明, 解体に係る財源確保策の検討
- 平成29年度～ ・解体計画書作成, 住民説明
・施設解体工事
・土壌改良工事